

和泉市シルバー人材センター事業

中 期 計 画

令和 7 年度（2025）～ 令和 12 年度（2030）



公益社団法人和泉市シルバー人材センター

はじめに

我が国における総人口の推移を見ますと、少子化の進行と団塊の世代を中心とする高齢化がすさまじい勢いで進行しています。

2004 年では、高齢化率は 19.6%でした。それが 2024 年になりますと 29.3%へと上昇し、2030 年では 31.8%の予測値になります。

さらに長期的には高齢化率が一段と進むと予測されています。

これに伴って、2005 年では総人口が 1 億 2,777 万人で、うち生産年齢人口は 8,442 万人と 66%であったものが、45 年後の 2050 年には総人口は 9,515 万人と 3,262 万人の減少となり、生産年齢人口は 4,930 万人と半世紀前の約半分近くに減ってしまいます。長期的に見て、日本は総人口も生産年齢人口もともに急速に減少していくと言えます。

生産年齢人口の激減は、GDP の減少や国力の低下に直結します。

これを補うためには、生産面における IT 技術の積極的導入を推進し、製品などの高付加価値化といった産業の高次元化を果たさなければなりません。

これと併せて、生産年齢人口の減少を補うために、増加していく高齢者の社会・経済活動への積極的参加が重要度を増してきていると言えます。全国のシルバー人材センターがそれぞれの地域に見合った活発な活動が求められます。それぞれの拠点が中期的な計画を策定し、その目標に向かって着実に事業推進していくことが一つの成果を得るために必要・不可欠なことだと考えています。

この度の事業計画は、第 3 次中期計画となりますが、本計画で示された目標達成のため会員はじめ関係者の皆様方のご支援・ご協力をいただきながら邁進していく所存です。

令和 7 年 4 月吉日

公益社団法人和泉市シルバー人材センター

理 事 長 油 谷 巧

目 次

I 計画の概要

1. 中期計画（第3次）策定の趣旨	… 1
2. 計画期間	… 1
3. 計画の基本方針	… 1

II 基本方針の計画内容

1. 会員の拡大	… 2
2. 就業機会の確保・拡大	… 4
3. 安全・適正就業の推進	… 9
4. 普及啓発活動の推進	… 11
5. 組織体制の強化	… 12

III 参考資料	… 13
----------	------

I 計画の概要

1. 中期計画（第3次）策定の趣旨

シルバー人材センターは、高年齢者が健康で意欲と能力のある限り、年齢にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会」を実現し、高年齢者自身が地域社会の支え手として活躍することを目的としています。

この計画は、和泉市シルバー人材センターにとって、今後の事業運営の基本方針であり、今後も高年齢者が地域で必要とされ、活躍できることを目的としたセンター事業を推進するために、前中期計画（以下「第2次計画」）を継承して、令和7年度（2025）から令和12年度（2030）までの中期計画（以下「第3次計画」）を策定するものです。

2. 計画期間

令和7年度（2025）から令和12年度（2030）の6年間

3. 計画の基本方針

- （1）会員の拡大
- （2）就業機会の確保・拡大
- （3）安全・適正就業の推進
- （4）普及啓発活動の推進
- （5）組織体制の強化

Ⅱ 基本方針の計画内容

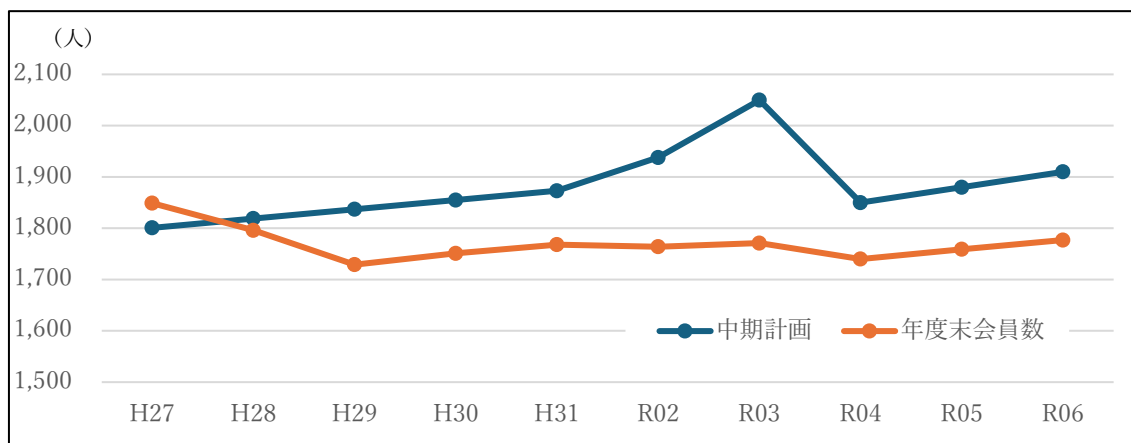
1. 会員の拡大

■現状と課題

第2次計画においては、(公社)全国シルバー人材センター事業協会が掲げる「会員 100 万人計画」に呼応し、計画終了年である令和6年度末の会員数の目標数は2,425人としていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、シルバー人材センター事業も活動自粛等の影響を受け、活動が制限されたことから、令和4年度に中期計画の見直しを行いました。

また、改正高年齢者等の雇用の安定等に関する法律の影響を受け60歳台の入会者は減少しており会員拡大は厳しい状況となっていますが、女性の入会数は増加している傾向にあることから、高年齢会員や女性会員の個々に合わせた多様な働き方の確保に努めるなど、会員拡大の取り組みが求められています。

《会員数の推移》



	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06
中期計画(人)	1,801	1,819	1,837	1,855	1,873	1,938	2,050	1,850	1,880	1,910
会員数(人)	1,849	1,796	1,729	1,751	1,768	1,764	1,771	1,740	1,759	1,777
達成率(%)	102.7	98.7	94.1	94.4	94.4	91.0	86.4	94.1	93.6	93.0

■基本計画

(1) 新規会員の拡充

市広報紙などを活用し、シルバー人材センター事業の周知を図ることで、多くの会員の新規入会を促進します。またハローワークが実施する「高年齢者の就活セミナー」において、シルバー人材センター事業の周知を行い、新規会員の獲得を図ります。

(2) 女性会員の拡大

女性が興味を持つ講習会・ワークショップ等の開催や、女性会員が活躍している情報を発信することで、女性会員の拡大を推進するとともに、就業機会を確保するため、就業開拓を積極的に推進します。

(3) 在会年数の延伸

同好会活動による仲間づくりの支援や、就業以外でも長く活躍できる魅力あるセンターを目指すことで退会の抑制に努めます。

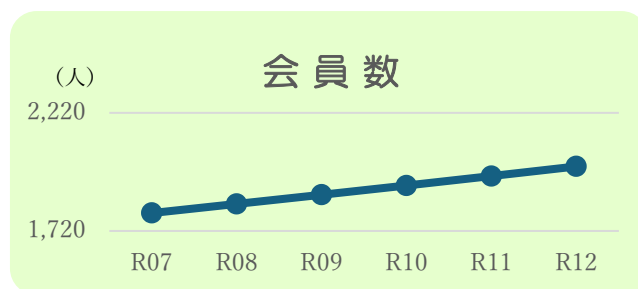
(4) センターの魅力度の向上

就業機会の確保・提供に加え、高年齢者に興味のある講習や体験会などを開催するなど、魅力ある事業運営を推進します。

■数値目標

会員数

1,993 人



項 目	R07	R08	R09	R10	R11	R12
会員数(人)	1,796	1,834	1,873	1,912	1,952	1,993
増加率(%)	—	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1

2. 就業機会の確保・拡大

■現状と課題

令和6年度の事業実績（請負・派遣）は、契約件数1,885件、契約金額8億2,439万円となりました。

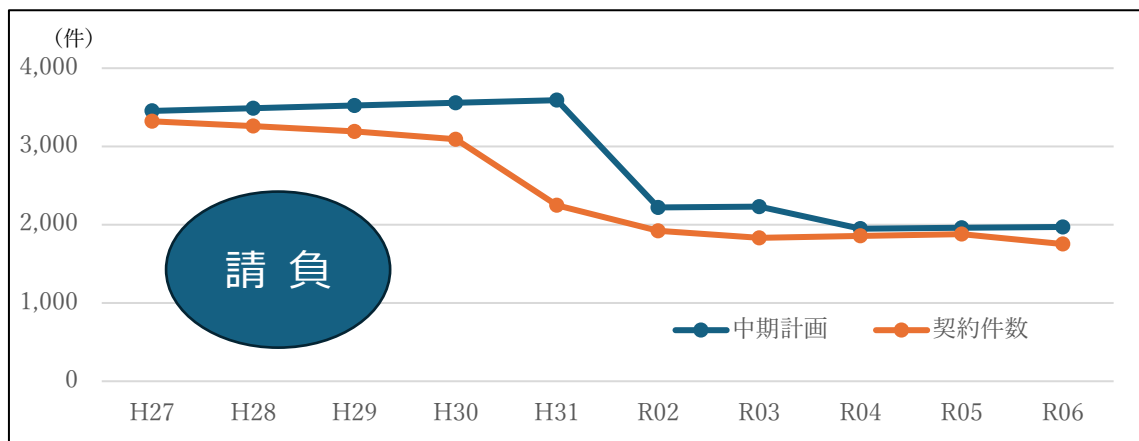
契約件数は、コロナ禍において個人家庭からの受注が減少したことに加え、安全就業の観点から、草刈業務における草刈刃を切り替えたことによる発注者の費用が増額したこと、及び就業会員の高齢化により植木の剪定業務（年間約1,000件）を中止したことで大幅に減少する結果となりました。

入会会員の高齢化や屋外作業を希望する会員が減少している状況ですが、発注者からの期待に応えられる人材の確保が課題となっています。併せて、在会会員の高齢化に伴い、高齢になっても安全に就業できる職種の開拓が必要となっています。

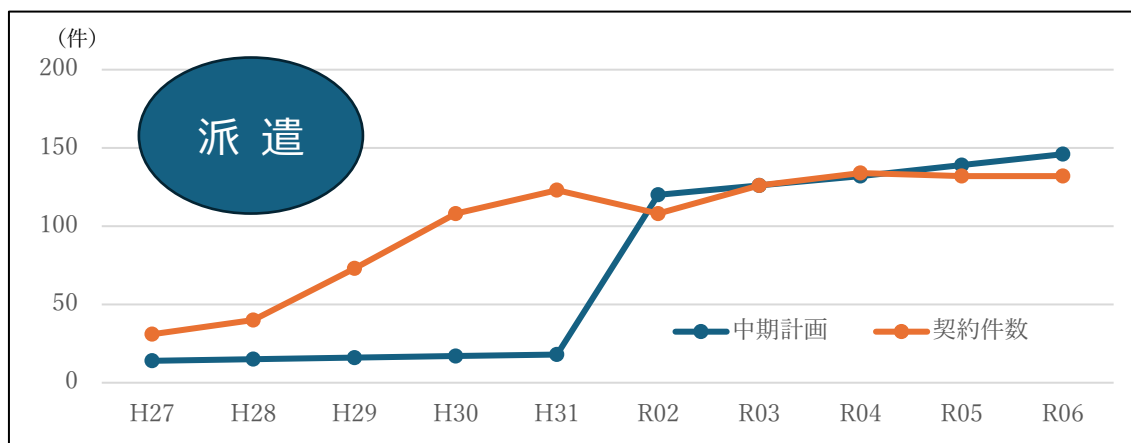
契約金額は、コロナ禍や植木の剪定業務の中止の影響などで個人家庭からの受注は減少しましたが、市よりコロナ感染症の予防関連業務やふるさと納税業務に係る大規模契約を受注したこと、また、大阪府の最低賃金の増額の影響もあり、契約金額は堅実に増加しました。しかしながら、令和5年10月より

「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が導入され、センター事業の運営基盤に大きく影響を及ぼすことから、余儀なく事務費を改定することとなりました。また、令和6年11月より施行された「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス法）」の遵守や、会員が個人事業主であることを踏まえ「包括的契約」など注視しながら検討することが課題です。

《契約件数の推移》

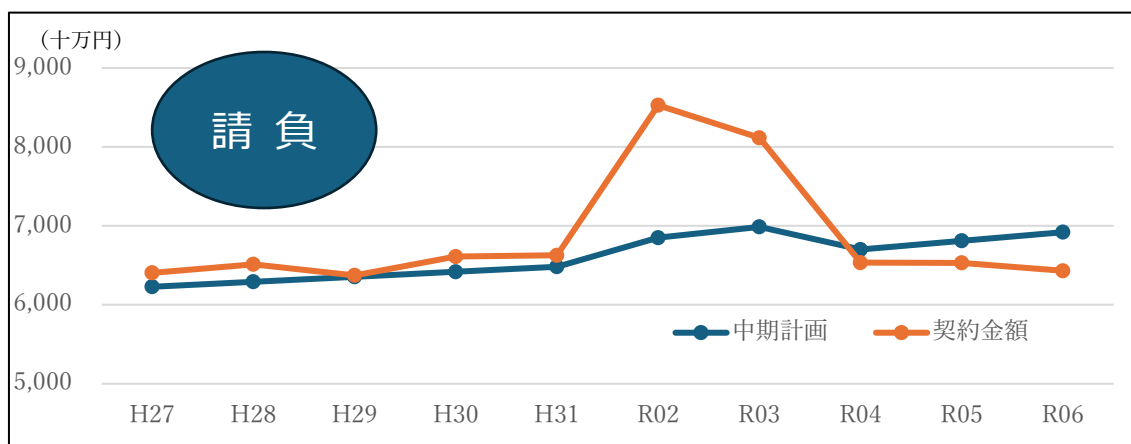


請 負 件 数	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06
中期計画(件)	3,454	3,488	3,522	3,557	3,592	2,220	2,230	1,950	1,960	1,970
契約件数(件)	3,322	3,260	3,191	3,091	2,247	1,921	1,831	1,857	1,879	1,753
達成率(%)	96.2	93.5	90.6	86.9	62.6	86.5	82.1	95.2	95.9	89.0



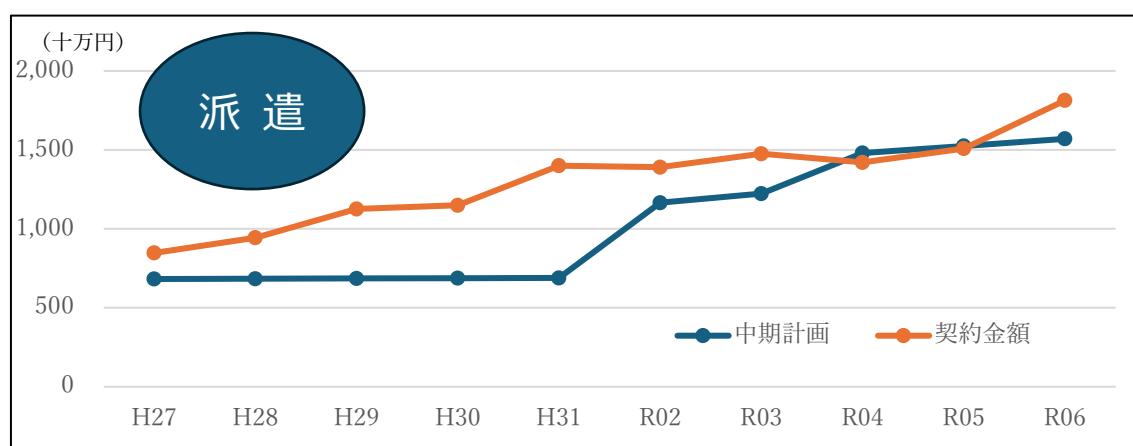
派 遣 件 数	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06
中期計画(件)	14	15	16	17	18	120	126	132	139	146
契約件数(件)	31	40	73	108	123	108	126	134	132	132
達成率(%)	221.4	266.7	456.3	635.3	683.3	90.0	100.0	101.5	95.0	90.4

《 契約金額の推移 》



(十万円)

請 負 件 数	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06
中期計画	6,228	6,290	6,353	6,417	6,481	6,850	6,987	6,700	6,810	6,920
契約金額	6,404	6,512	6,371	6,610	6,626	8,527	8,115	6,533	6,530	6,429
達成率(%)	102.8	103.5	100.3	103.0	102.2	124.5	116.1	97.5	95.9	92.9



(十万円)

派 遣 件 数	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06
中期計画	682	683	685	687	688	1,165	1,223	1,480	1,524	1,570
契約金額	847	943	1,125	1,149	1,400	1,390	1,475	1,420	1,508	1,814
達成率(%)	124.2	138.0	164.2	167.2	203.2	119.3	120.6	96.0	99.0	115.5

■基本計画

(1) 受注の継続・拡大

就業会員の資質向上を図り、講習会などを開催して発注者の信頼を高めることで受注の継続性やリピート率の向上を図るとともに、会員の平均年齢の上昇が進んでいることから、就業できる職種の開拓に努めます。

(2) 就業相談会の推進

就業機会の提供を目的とした「就業相談会」を毎月開催し、就業機会の提供に努めます。また、新たな職域の受注拡大を目的に、会員が持つスキルや趣味

をホームページで公開し、サービス利用の周知・拡大に努めます。

（３）技能講習会の実施

技能講習会を開催し、会員の知識・技能向上を図り、就業機会の拡大を図ります。

（４）ワークシェアリングの推進

会員の希望と能力に応じた就業機会をより多くの会員に提供できるよう、ワークシェアリングを推進します。

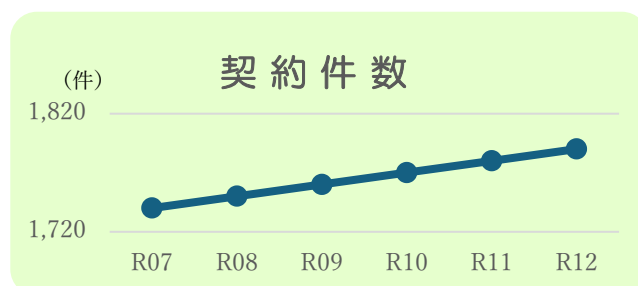
（５）独自事業の推進

会員の就業機会を確保するため、自主的・自立的な運営が可能な独自事業の創出について検討する。

■数値目標

「請負」契約件数

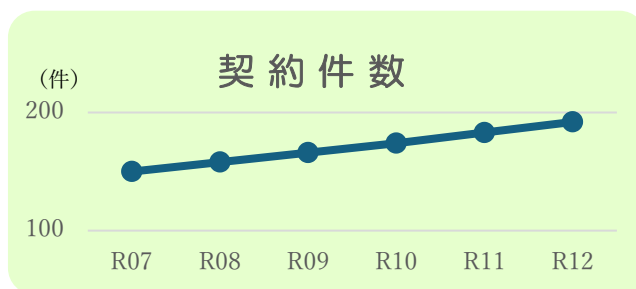
1,790 件



項 目	R07	R08	R09	R10	R11	R12
契約件数 (件)	1,740	1,750	1,760	1,770	1,780	1,790
増加率(%)	—	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5

「派遣」契約件数

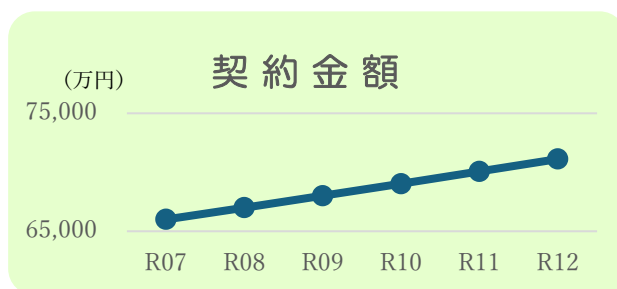
192 件



項 目	R07	R08	R09	R10	R11	R12
契約件数 (件)	150	158	166	174	183	192
増加率(%)	—	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0

「請負」契約金額

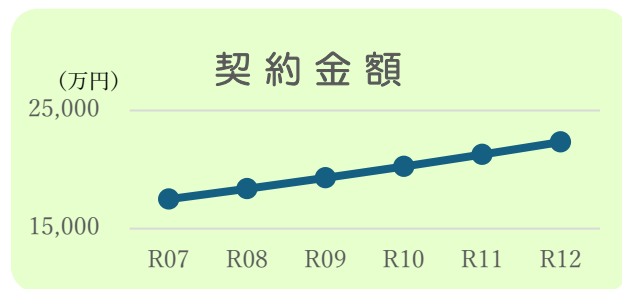
7 億 1,120 万円



項 目	R07	R08	R09	R10	R11	R12
契約金額 (万円)	66,000	66,990	68,000	69,020	70,060	71,120
増加率(%)	—	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5

「派遣」契約金額

2 億 867 万円



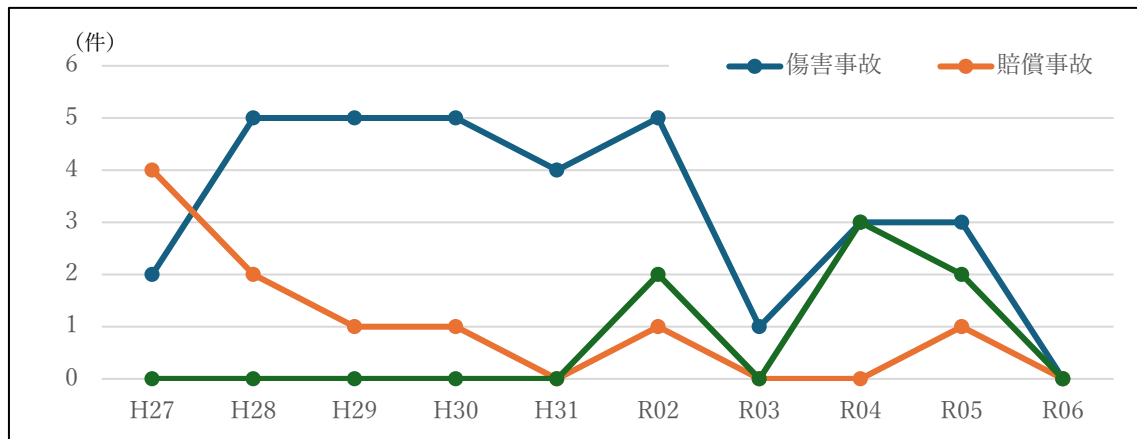
項 目	R07	R08	R09	R10	R11	R12
契約金額 (万円)	18, 000	18, 540	19, 096	19, 669	20, 259	20, 867
増加率(%)	—	3. 0	3. 0	3. 0	3. 0	3. 0

3. 安全・適正就業の推進

■現状と課題

傷害事故（労働者災害含む）は、平成 27 年度から令和 6 年度の 10 年間で 40 件発生しており、そのうち、重篤事故は 1 件発生しました。センターでは、安全対策委員会において安全就業における計画を策定し、現場パトロールや安全就業について安全意識の向上などを啓発するなど、傷害事故ゼロを目標に努めて参りましたが、その達成には至っていません。また、就業途上の事故は全体の 40%を占めていることから、高齢者の交通安全講習会を開催するなど、傷害事故ゼロを目指す取り組みの強化が必要です。

賠償事故は、平成 28 年度より草刈刃を安全性の高い「ハサミ式刃」に変更したことにより、賠償事故件数の 8 割を占めていた草刈による事故はゼロとなりました。今後もハサミ刃式刃を継続するとともに、他の賠償事故の分析と原因究明により再発防止策の策定に取り組むなど、賠償事故ゼロを目指します。



事 故 件 数	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06
傷害事故(件)	2	5	5	5	4	5	1	3	3	0
賠償事故(件)	4	2	1	1	0	1	0	0	1	0
労災事故(件)	0	0	0	0	0	2	0	3	2	0

■基本計画

(1) 安全パトロールの実施

「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、就業中における事故防止のため、安全就業推進員や安全対策委員会による安全パトロールを実施し、会員の安全意識の向上に取り組みます。

(2) 交通安全の推進

就業途上における交通事故防止のため、交通安全講習会を実施し、事故防止に努めるとともに、自転車を利用している会員については、「個人賠償責任保険」の加入と安全基準に適合したヘルメットの着用を推奨します。

(3) 安全確認の徹底

「安全就業基準」の周知を図るとともに、新規受注については、安全就業推進員や安全対策委員、担当職員による現場確認を徹底します。

(4) 適正就業の推進

長時間就業の是正に努め、ワークシェアリングやローテーション就業を推進

するとともに、「適正就業ガイドライン」に基づき、適正就業を推進します。

4. 普及啓発活動の推進

■現状と課題

コロナ禍では、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、感染拡大防止対策から多くのイベントが中止となるなど、会員が集う啓発活動が制限されましたが、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置づけが「5類感染症」に変更され、社会経済活動は徐々に正常化に向かう中で、当センターは会員拡大を目指した普及啓発活動を掲げ、非会員が参加できる催しや女性限定の講座など、様々な事業を実施して新規会員の獲得に取り組みました。

■基本計画

(1) 広告宣伝活動の充実

会報「くすのき」や「シルバー人材センターだより」の発行、市広報紙の活用など、シルバー事業の周知に努めます。

(2) 普及啓発活動の推進

市内で開催されるイベントに積極的に参加し、当センターオリジナルロゴマーク入りの普及啓発グッズの配布や、各委員会と連携し、会員が主体となって積極的に活動する取組みを推進します。

(3) ホームページやSNSの活用

当センターのホームページを積極的に更新し、最新の情報を提供するとともに、会員への情報の提供や発信の充実を目的に、LINEや会員クラウドサービスの利用を推進します。

5. 組織体制の強化

■現状と課題

安定的な財政運営のため国・市の補助金を確保するとともに、自主財源の確保のため、インボイス制度を注視しながら受託事業や労働者派遣事業の増収を図ります。また、事業運営にあたっては関係法令を遵守し、行政機関の立入検査や定期指導のもと適正な運営に努めます。

■基本計画

(1) 会員主体の組織運営

「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員主体の組織運営に努めます。

(2) 各専門委員会との連携

各専門委員会が事業計画のPDCAによる目標管理を行い、より充実した事業運営を実施するとともに、相互連携により組織の活性化に努めます。

(3) 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の検討

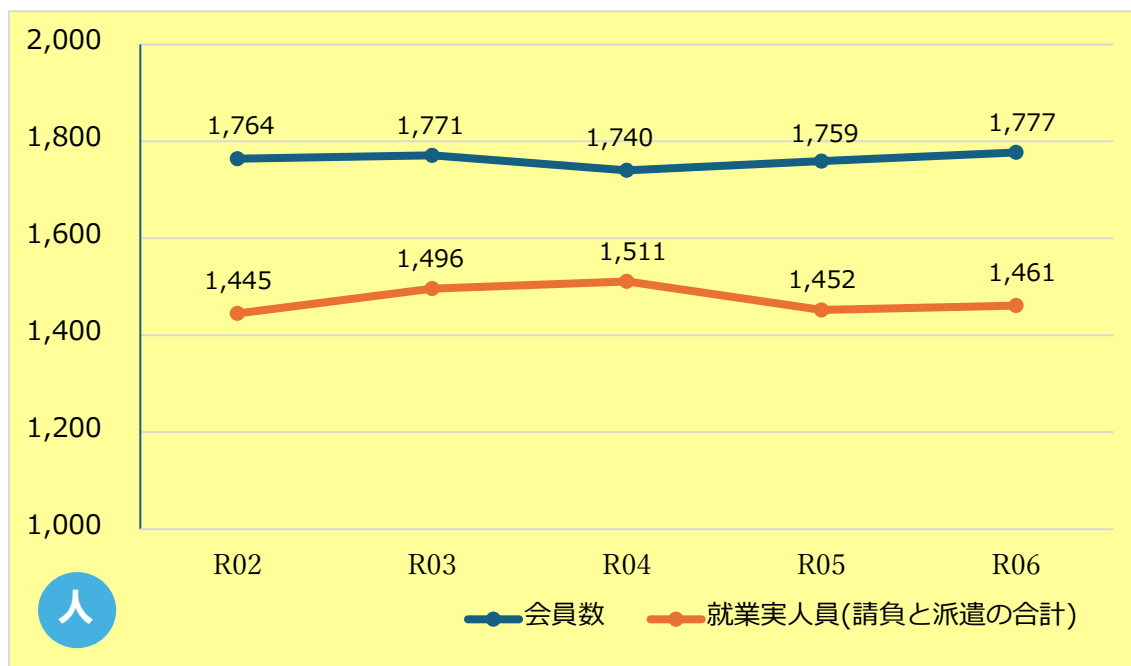
インボイス制度の経過措置を注視しながら、シルバー人材センター事業の安定的な事業運営・財政運営に努めます。また、特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス法）を遵守し、包括的契約について検討します。

(4) 関係行政機関・団体等との連携の強化

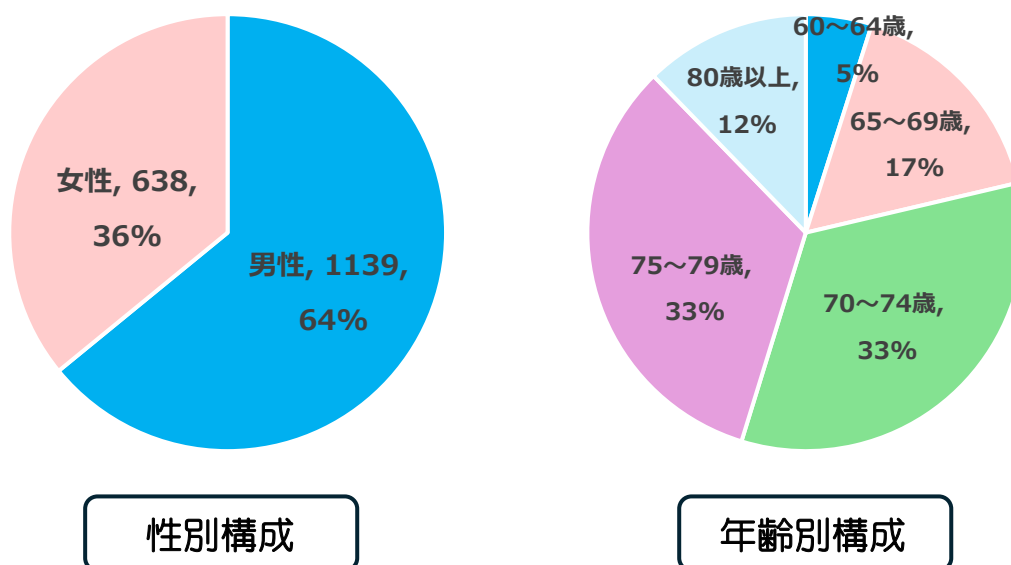
シルバー人材センター事業の円滑な推進を図るため、市及び各関係行政機関・団体等と連携の強化に努めます。

Ⅲ 参考資料

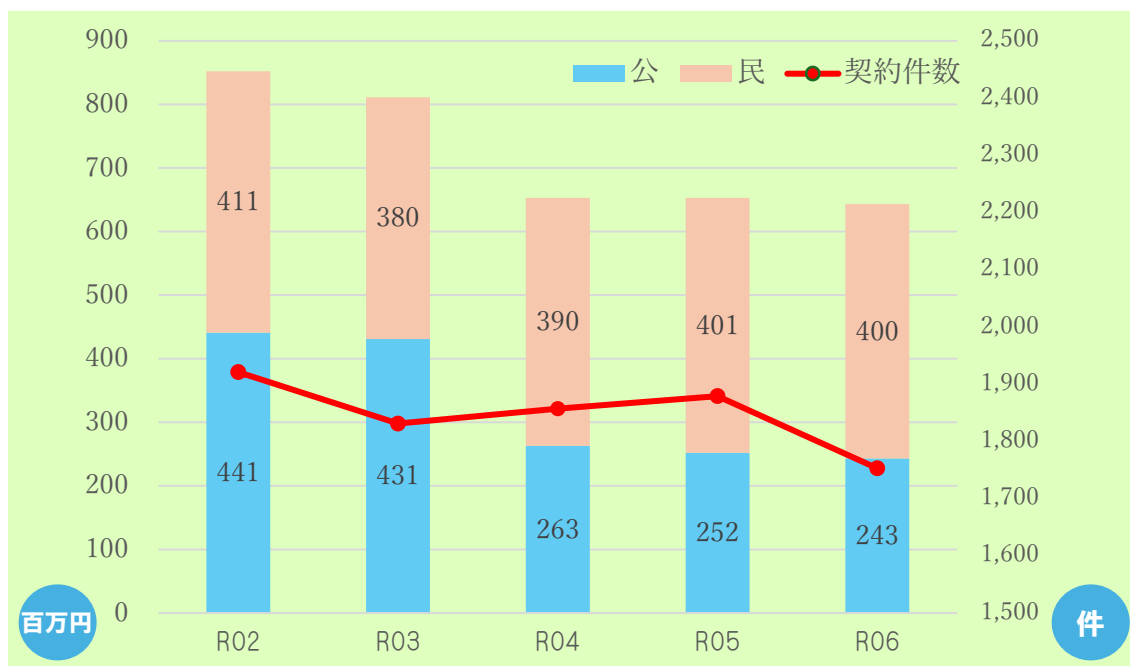
(1) 会員数と就業実人員



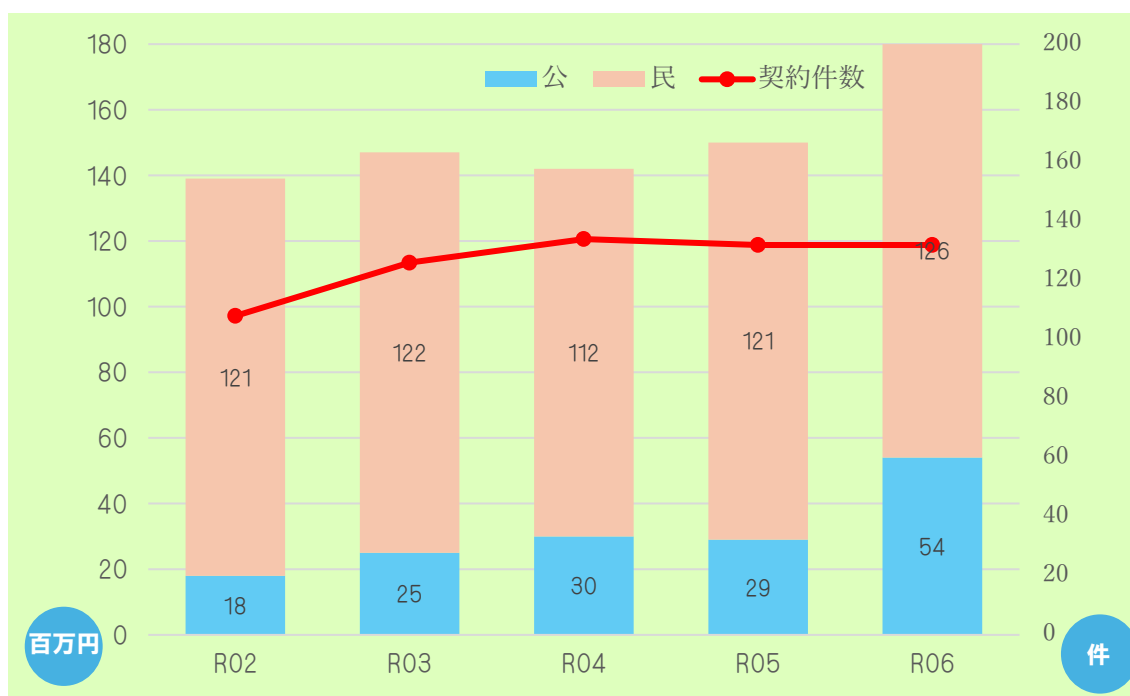
(2) 会員の性別及び年齢別構成（令和6年度末日）



(3)「請負」契約金額及び契約件数



(4)「派遣」契約金額及び契約件数



シルバー人材センター中期計画策定委員名簿

- | | | |
|---------|----|---------|
| 1. 委員長 | 理事 | 田 中 一 男 |
| 2. 副委員長 | | 竹内 幸次郎 |
| 3. 委 員 | | 上 杉 薫 |
| 4. 委 員 | | 川 野 芳 明 |
| 5. 委 員 | | 栗山 奈津子 |
| 6. 委 員 | | 中 井 修 平 |
| 7. 委 員 | | 橋 本 建 夫 |
| 8. 委 員 | | 吉 田 弘 |

(敬称略、順不同)

第3次の中期計画の策定にあたっては、各委員会（総務・業務・安全対策・地域活動・広報）からの意見を集約し、当センターの「総務及び財務、組織体制等に関すること」を所掌する総務委員会が作成・編集を担当しました。

公益社団法人和泉市シルバー人材センター

中 期 計 画

発行日 2025 年 4 月 1 日

編 集 総務委員会

発 行 和泉市シルバー人材センター

〒594-0071

和泉市府中町四丁目 20 番 2 号

TEL 0725-45-5255 FAX 0725-45-5533
